

一般質問



白石 議員

- 一、松浦市の景気対策について
二、青島、飛島、黒島の離島振興について

質問

一、(1)財政が厳しいと言いながら市政概況報告にはありませんが、本市を取り巻く経済状況が、市民、企業、各種産業に与えている状況をどのように把握されているのか。(2)6月議会で取り上げた燃油高騰対策の実績はどうか。(3)経済状況が厳しいこの不況を乗り切るため、公共事業を前倒しする必要があるが、その施策は。二、離島振興法の目的は、他の地域に比して低位にある状況を改善することとなっています。(1)新市の離島振興計画書は出されているのか。(2)総合計画書では、地域格差のない行政サービスの実施、産業発展を実現するための基盤整備を行うとしているが、どのような施策を行ってきたか。(3)議会中継システムの整備が必要ではないか。(4)市長の離島振興に対する思いはどうか。(5)定期船の増便について、会社との協議は行ってきたのか。(6)島に製氷、冷凍冷蔵施設が必要と思うがどうか。(7)離島に対する医療の確保と高齢者福祉はどのように行われているか。(8)災害対策は。

答 弁

一、(1)市内企業でも生産を落としたり、売り上げが減少している状況等があり、非常に大きな影響を受けていると受け止めている。(2)関係者の方々から、一定の評価をいただいていると考えている。(3)市の単独事業や繰越事業については、可能な限り早急に発注できるように努力したい。二、(1)平成15年4月に策定後、新たには出していない。(2)離島航路への助成、離島漁業再生支援交付金事業の取り組み等を行っている。(3)DVDを各支所等に置いているので、ご利用いただきたい。(4)離島というハンディを少しでもカバーして、安心して住んでいただけるような島にしていきたい。(5)4回程度社長とお話をさせていただいている。(6)御厨の製氷貯水施設は、青島地区も利用区域となっており、まずは関係皆様方と漁協でお話いただきたい。(7)総合健診の説明会で健康相談を行う等している。また、出張診療の検討を行っているが、早急な開設は極めて困難な状況である。(8)平成21年度に福島、鷹島地区とあわせて、黒島の防災行政無線の統合を進めていきたい。

一般質問



下久保 議員

- 一、離島地域の振興策について
二、西九州道にかかる諸問題について

質問

一、高齢化が進む離島地域については、地域住民の自助努力ではどうにもならないことが多く、行政としてできるだけ手助けが必要と考える。(1)鷹島肥前大橋開通後、飛島地区の航路存続はどのようになるのか。(2)黒島地区の振興策として、雑木林を伐採し、同地区に多く見られる「椿の木」を生かすことはできないか。また、医者への往診を考えてはどうか。(3)青島地区については、定期船最終便後の交通手段の確保に取り組むべきと考えるがどうか。二、(1)松浦市にとって非常に大事な道路であり、その推進のために移転対象者への負担を軽減するため、市として何らかの措置を取るべきではないか。(2)市道木場線については、西九州自動車道と交差する付近については非常に道幅が狭く改良が求められる。西九州自動車道の詳細設計と同時に市道の改良計画も出す必要があると考えられるが、その対応についてはどうされるのか。その他、まつり等市内各地でのイベントについてと今福地区臨海型工業団地について質問しました。

答 弁

一、(1)今後、利用者の動向、推移を見ていく必要があるが、赤字航路になっても補助をして存続していきたい。(2)雑木林の多くが島外の方の所有地であり、了解があれば規模拡大を図っていきたい。森林づくり基金の中での取扱いができないか、今後検討したい。また、診療については、医療法上の問題がないか、先生に聞いていただくときの条件等を含めて、今後の検討課題としたい。(3)どういう形で問題解決するかについて、十分検討していく必要がある、今後よく協議していきたい。二、(1)国が定める補償基準に基づいて補償しているところであり、市独自の支援策等の対応は難しいと考える。ただ、移転に際しての移転先の選定等の心配については、積極的に誠意を持って対応したい。(2)西九州自動車道との交差分の設計については、拡幅を前提とした設計をしてもらうように、国に理解していただいている。木場線の改良は必然的に必要となるので、具体的な検討に入っていかなければならないと考えている。